

苗木配布

問 環境課自然環境担当 218

▼町 HP



記念樹
などにも
どうぞ!



町では、CO₂を
吸収・蓄積する
木の植樹を推奨
し、苗木配布を
行っています。

▶**対象**：町内に所有・管理する土地
または建物のバルコニー・ベラン
ダなどで樹木を育成できる人。

▶**配布樹種**：配布奨励樹木または植
樹時期などを考慮した樹種。

※希望に添えない場合もあります。

※5本を上限に年度1回まで。

▶**申込み**：申請書（HP 上記窓口
で入手）を窓口・メール・電子申
請で提出。

苗木配布 利用者の声 Voice

木を植えるとCO₂を減らすことに
もつながるし、生活にみどりを取り
入れられるのでいいです

ね。実が生る木も植え
たので子どもと楽
しんで育てています!



町内在住
松本 渚さん

みよしフォレスト・ シティ構想

都市と里山の魅力を併せ持つ三芳町において、みどりや農、コン
パクトなどの特性を活かした誇らしい未来を目指し、その実現を
図るための施策を展開します。環境と共生する豊かで持続する地
域の実現を目指すために、以下の3つの目標に取り組みます。

- 緑あふれるまちづくり
- 農業で活力と賑わいのまちづくり
- スマートでコンパクトなまちづくり

▼SDGs の概念「SDGs ウェディングケーキモデル」

SDGs の土台は「①自然
環境」。その上に「②社会」
が成り立ち、「③経済」が
成り立っているという考
え方。みよしフォレスト・
シティ構想もこの考えに
基づいています。



政策研究所プロジェクトチームアドバイザーのコメント

平地林はみんなの宝

～三芳町らしいフォレスト・シティ構想に～

木を植えてみどり豊かな景観・環境を形成し、300年以上に渡っ
て継承されてきた「武蔵野の落ち葉堆肥農法」。資源循環型の
平地林は町みんなの宝であり、SDGs の土台です。

食料供給や環境への貢献だけでなく、落ち葉掃きな
どの農業体験によって農家と町民が連携し、地域コ
ミュニティを生み出す場
になり、町の誇りになる
ことを期待します。

農業ジャーナリスト

小谷 あゆみさん



町内企業で進む ゼロカーボンアクション

株式会社 武蔵野ロジスティクス



株式会社武蔵野ロジスティクス（代
表取締役社長：門岡百年）では、太
陽光パネル設置、照明のLED化、
冷媒装置など設備の更新を行うこと
で自社での消費エネルギーを削減。
物流事業に関しては、運転の状況が
記録されるデジタルタコグラフを活
用して急発進、急加速、急停車等を
しない、人にも環境にも優しいエコ
ドライブを推進しています。

また、電気自動車やハイブリッド車
の導入を進めるなどの取り組みで、
環境に配慮した経営を行う事業所と
して「グリーン経営」の認証を取得
しています。



▲埼玉物流センターの太陽光発電システム。

大東ガス株式会社



大東ガス株式会社（代表取締役社長：
清水宏之介）は、天然ガスの採掘か
ら燃焼までの工程で発生する温室効
果ガスを森林保護や植林などで実質
ゼロにした「カーボンニュートラル都
市ガス(CNL)」を町内3事業者に供給。
また、販売する電気に非化石価値を
充てたCO₂フリー電気の供給も行い、
持続可能で環境性の高いエネルギー
の普及拡大に取り組んでいます。



▲CNLの仕組みイメージ図。

排出するCO₂を削減するだけでなく、光合成でCO₂を吸収する木を植える、CO₂を排出しない
エネルギーを使うなどで、町全体の排出量「ゼロ」をめざすゼロカーボン——。町内で実施されてい
る取り組みを紹介します。

みよしのみどりをこれからも

みよしフォレスト・ シティ構想

ゼロカーボンでは、CO₂

を吸収してくれる木々を守り、増やしていくことも重要。300年以上に渡り受け継がれてきた三芳町の平地林、ひいては平地林を活用した循環型の「武蔵野の落ち葉堆肥農法」はゼロカーボンの観点でも重要な位置を占めています。

また、町としても太陽光発電システムや次世代自動車に

「ぜ」だけだけでなく企業や事業所をはじめ町全体での取り組みが不可欠。排出量の約63%を占める町内事業所の一部では既に環境にやさしいエネルギーの供給や太陽光パネル設置などゼロカーボンに向けた取り組みが始まっています。(上部)

地球温暖化対策実行計画で住民・事業者が主体となって協働で取り組む「区域施策編」を策定予定。50年後もその先も、環境と共生する持続可能な地域であり続けるため、歩み続けていきます。
あなたも未来のために、身近なゼロカーボンアクションから——できるコトから始めてみませんか? ■